

3/1 第18回PASイタリア国際打楽器コンクール マリンバB部門で最高位を受賞



本市出身で、現在、ドイツのデトモルト音楽院大学大学院に留学している佐藤健詞郎さんが市役所を訪れ、昨年9月にイタリアで開催された国際打楽器コンクールで最高位を受賞した報告を行いました。佐藤さんは「点を取って勝敗を決めるスポーツと違い、聴く人によって良い音楽なのか、悪い音楽なのかが決まるので、説得力のある、自分が納得できる音楽を目指しています」と話しました。

3/8 絵本の寄贈ありがとうございます 絵本「すくぶん」寄贈



市教育委員会にて普天満山神宮寺の金城良史住職より看護婦として戦中戦後の看護に尽力した眞玉橋ノブを描いた絵本「すくぶん」の寄贈がありました。金城住職は「沖縄の子ども達に眞玉橋ノブさんを伝えたいと思い、寄贈を考えました」と話し、知念教育長は「子ども達が、本から学ぶことは非常に大きいものがあります」と感謝しました。すくぶんとは沖縄の方言で使命や役割を意味しています。

2/8 温かいご支援ありがとうございます 富士建設から食料品の寄贈



株式会社富士建設(手登根代表取締役)から、コロナ禍で困っている方々に活用してほしいと、食料品等の寄贈がありました。食糧品等は、新型コロナの影響により支援を必要としている世帯へ、市社会福祉協議会が行っている食料支援の取り組みを通して活用されます。手登根代表取締役は「微力ではありますが、地域に貢献したい思いから、寄贈をさせていただきました」とあいさつしました。

2/21 温かいご支援ありがとうございます アトムホームから食料品の寄贈



株式会社アトムホーム(宮平克哉CEO)から、お米150袋、ポーク缶詰150缶の寄贈がありました。おとしの4月から2カ月毎にいただいている定期的な食料品の寄贈は今回で12回目となっています。宮平CEOは「小さな支援ですが、続けていくことが大事なことだと考えています。このことが共有され、ひとりひとりが『誰かのために』という発想が広がっていければと思います」とあいさつしました。

3/8 3月8日は国際女性デー 宜野湾市商工会女性部がPR



女性の平等な社会参加の環境整備を呼びかける「国際女性デー」に合わせ、宜野湾市商工会女性部が市役所正面玄関にて、花束配布とPR活動を行いました。商工会女性部の大城光代部長は「女性を祝福し『女性の生き方』を見つめなおす国際女性デーにこのような活動をさせていただき深く感謝致します。これからもワクワクする活動を目指し女性を応援し続けてまいります」と話しました。

3/12 宜野湾市の魅力を国内外へ広く発信 第33代はごろもレディが決定



「はごろもレディ選出大会」が行われ、岡崎穂乃花さん、藤村玲菜さん、下地朝子さんが第33代はごろもレディに選出されました。3名は、観光宣伝や公式諸行事への参加、また、各都市との親善交流などを通して、宜野湾市を広く発信していきます。下地さんは「ひとりでも多くの方が、宜野湾市に行ってみたいと思えるように、宜野湾市の魅力を伝えていきたいと思えます」と意気込みを話しました。

2/22 多年にわたり社会教育の振興に尽力 沖縄県社会教育功労表彰伝達式を開催



市教育委員会にて、宮城政一さんへ沖縄県社会教育功労表彰が伝達されました。宮城さんは、高等学校の校長を退職後、地元自治会にて青少年育成に尽力、地域福祉支援活動なども行い、市社会教育委員を10年務めるなど本市社会教育振興に大きく寄与されました。宮城さんは「素晴らしい賞をいただけて、大変うれしく思います。今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします」と話しました。

2/24 温かいご支援ありがとうございます 大塚製薬が接種会場へ飲料水を寄贈



健康増進および市民サービスの向上を目的に包括協定を締結している大塚製薬株式会社が、新型コロナワクチンの集団接種会場へ、ポディーメンテ、イオンウォーター合計1,200本の寄贈がありました。同社熊本支店那覇出張所の坂元康一所長は「冬場は意外と水分をとらない方も多いため、日々の体調管理のためにも水分補給を大事にしていきたいと思えます」とあいさつしました。

3/12 986名の生徒が市内中学校を卒業しました 市内中学校にて卒業式が行われました



新型コロナウイルス感染症対策の中、市内公立中学校にて卒業式が行われました。嘉数中学校で卒業生代表挨拶を行った比嘉悠斗さんは「入学したあの頃と比べると、自分たちが一回りも二回りも大きく、心も体も成長していることを実感しています。またいつか、みんなと他愛無い話ができる事を心待ちにしています」と語りました。

2/25 横浜DeNAベイスターズ宜野湾友の会主催 オンライン少年野球教室を開催



横浜DeNAベイスターズ旗争奪少年野球大会に出場したチームとのオンライン野球教室が行われました。例年、同大会の表彰式の後、選手から直接指導を受けられる野球教室を開催していましたが、感染拡大防止のため、オンラインでの開催となりました。チームを代表して、比知屋義誠さん(宜野湾小6年)は「今日教えてもらったことを中学生になったら活かしていきたいです」と感謝しました。

2/28 温かいご支援ありがとうございます JAおきなわ宜野湾支店から食料品の寄贈



JAおきなわ宜野湾支店の関係者が市役所を訪れ、2月に開催した「もったいない市」の報告と食料品の寄贈を行いました。同支店互助会のSDGs手工芸倶楽部「アテナータ」主催の「もったいない市」では、職員などで持ち寄った衣類や学用品類、食料品等を子育て世帯に無償で提供しました。同支店では、第2回の開催を来年予定しており、学用品などの寄贈を随時受付しています。